

日興アセットマネジメント

気候変動についての意見表明

当社は、気候変動を、国際社会が直面する最大の課題の1つであり、お客様の資産を運用するという当社の受託者責任としての重要課題と認識しています。

この意見表明は、気候変動に対する当社の取り組みを示すものです。この表明は、「責任投資に対する日興アセットマネジメントのコミットメント」および最新の「日興アセットマネジメント TCFD 報告書」と併せてお読みください。

- 1. 社内の分析能力の強化・拡張**
「インテグレーション」は、当社が ESG ファクターを取り入れる上で柱となる戦略です。したがって、当社は、気候変動のリスクと機会の評価手法について常に最新の情報に精通し、継続的に改善するよう努めます。これには、気候変動に関する科学的知識の理解や、分析対象企業の事業環境の変化の把握、および気温上昇を 2°C 以下に抑えるシナリオを含むポートフォリオ・レベルでのシナリオ分析などが含まれます。
- 2. 投資コミュニティとの連携**
当社は、投資コミュニティが連携し、気候変動対応を強く求める世界規模の機関投資家団体 GIC(Global Investor Coalition on Climate Change)を通じたピア・ラーニングや、「2018 年グローバルな投資家による気候変動に関する政府へのステートメント」(2018 Global Investor Statement to Governments on Climate Change)を通じた政策提言などを行っていくことにより、共通の目標の達成を加速させることができると考えます。
- 3. 積極的なスチュワードシップ**
当社は、積極的な意見交換および適切な場合には議決権の行使を通じ、投資先企業、当社、およびお客様にとって気候変動に関連する好ましい成果を促すことができると認識しています。当社は、「Climate Action100+」などの関連する企業エンゲージメントのイニシアティブに参加し、当社の期待を投資先企業に伝えています。
- 4. 活動状況の報告**
当社は、2018 年に「気候関連財務情報開示に関するタスクフォース」(TCFD)の取り組みへの賛同を早期に表明しました。ポートフォリオについてお客様から特定の報告要請がある場合はそうしたニーズに対応しています。

TCFD の勧告に従い、投資先企業が以下の措置を講じることを促します。

- 重要な気候変動のリスクと機会を、関連する時間軸にわたって、また気温上昇を 2°C 以下に抑えるシナリオを含む異なるシナリオにわたって特定する。
- 重大な気候変動のリスクと機会を、リスク管理と戦略の全体に組み込む。
- 上記に関する方針、プロセスおよびパフォーマンスを開示する。

この意見表明は、持続可能な責任ある投資における当社の現状や状況を反映して随時改定されます。

日興 AM について

日興 AM は、2007 年に責任投資原則(PRI)に署名し、2018 年には、アジアの運用会社として初めて *The Investor Agenda* が掲げる 4 つの全分野にコミットしました。*The Investor Agenda* は、世界の投資家コミュニティが、気候変動の対応に重要な行動を加速および拡大し、パリ協定の目標を達成するために策定されたものです。

Version 2 – Approved 2020.10.30